

No.60

津地区の景況調査

平成24年上期実績と平成24年下期見通し
(平成24年7月調査)

津商工会議所・中小企業相談所

も く じ

I	調査概要	1
II	調査結果	4
1	現状と今後の見通し	4
2	売上状況と来期の見通し	6
3	売上の現状	8
4	利益状況	9
5	販売条件と仕入条件	10
6	設備投資	12
7	資金繰りの動向	12
8	借入の動向	14
9	借入予定と借入希望先	14
10	経営上の問題点	16
	調査票	18

I. 調 査 概 要

1. 調査目的 本調査は、津地区企業の景況を調査し、その動向を分析して地域事業所の経営管理に役立つ資料を提供することを目的とする。
2. 調査対象 津商工会議所会員でFAX登録されている2,218企業を対象に実施しました。
3. 調査方法 FAX送付によるアンケート方式
4. 調査期間 平成24年7月2日～7月13日
5. 調査対象期間 平成24年1～6月実績と平成24年7～12月見通し
6. 回収集計数 回収集計数企業 357 (回収集計率 16.1%)
 うち小規模企業 219
7. 調査機関 津商工会議所・中小企業相談所

D I - Diffusion. Index (ディフュージョン・インデックスの略)

本文のD I とは、景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているものでとくに言及のない限り、前期に比べて「増加」「好転」する企業の割合から「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

B. S. I 値 (ビジネス・サーベイ・インデックス) の見方について

B. S. I. とは、景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、とくに言及のない限り「増加」「好転」したとする企業割合から「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値を2で割った値である。

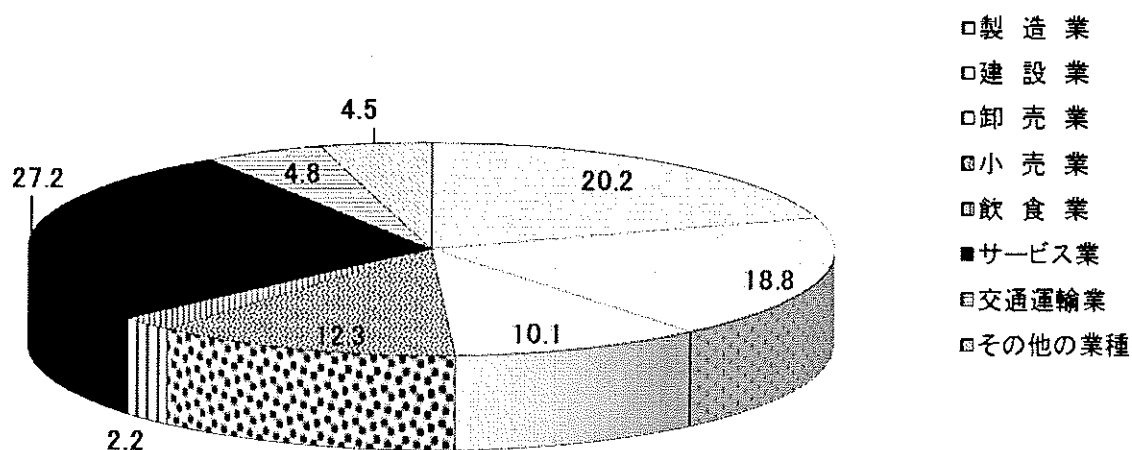
(注) 図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第2桁で四捨五入をしているため、合計が100.0にならない場合があります。

回答状況

業種別回答比率

(単位：％)



業種別従業員規模

(単位：上段－企業数・下段－％)

	0～ 5 人	6～ 20 人	21～ 50 人	51～ 100 人	101 人 以上	無記入	計
全産業	165 46.2	98 27.5	38 10.6	17 4.8	27 7.6	12 3.4	357
製造業	25 34.7	20 27.8	10 13.9	5 6.9	10 13.9	2 2.8	72
建設業	35 52.2	25 37.3	4 6.0	2 3.0	1 1.5	0 0.0	67
卸売業	16 44.4	11 30.6	6 16.7	1 2.8	1 2.8	1 2.8	36
小売業	29 65.9	6 13.6	1 2.3	3 6.8	4 9.1	1 2.3	44
飲食業	6 75.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8
サービス業	47 48.5	25 25.8	9 9.3	2 2.1	8 8.2	6 6.2	97
交通運輸業	2 11.8	5 29.4	5 29.4	3 17.6	1 5.9	1 5.9	17
その他の業種	5 33.3	4 26.7	2 13.3	1 6.7	2 13.3	1 6.7	15

全 産 業 D I

	業況判断	売り上げ	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
24年7月～12月 見通し	△ 33.7	△ 30.8	—	—	—	△ 23.8
24年1月～6月 実績	△ 22.2	△ 19.3	△ 30.5	△ 29.7	△ 22.7	△ 14.1
23年7月～12月 実績	△ 48.4	△ 29.0	△ 36.3	△ 30.7	△ 27.7	△ 21.3
23年1月～6月 実績	△ 48.6	△ 33.5	△ 37.1	△ 36.2	△ 33.8	△ 22.9

産 業 別 D I (24年1～6月期)

	業況判断	売 上	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
製 造 業	△ 18.1	△ 12.5	△ 13.9	△ 29.1	△ 25.0	△ 5.7
建 設 業	△ 19.4	△ 29.8	△ 35.9	△ 29.9	△ 17.9	△ 12.0
卸 売 業	△ 5.6	19.4	0.0	△ 8.4	△ 19.4	8.4
小 売 業	△ 45.5	△ 36.3	△ 50.1	△ 45.5	△ 25.0	△ 36.3
飲 食 業	△ 37.5	△ 37.5	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0	△ 37.5
サービス業	△ 18.5	△ 18.6	△ 35.0	△ 27.7	△ 18.5	△ 16.5

Ⅱ. 調 査 結 果

1. 現状と今後の見通し（表－1、図－1・2参照）

※平成21年上期調査より対象企業を小規模企業からFAX登録されている全会員企業に拡大実施。

(1) 現 況

全産業の業況判断DIは、今期実績値△22.2は前期△48.4と比べ、26.2ポイントの改善となっており、大幅な改善の数値を示している。前回調査時の予想値が△48.4であったことと比べると想定外の改善の結果となった。小規模企業は△27.4となっており、こちらも26.6ポイントと大幅な改善となった。全体の業種別では前回16.8ポイント改善した小売業は今回調査では若干の悪化を示したが、ほかの業種は、改善の傾向を示している。小規模サービス業が中小サービス業と比較して改善が緩やかである。

(2) 今後の見通し

全産業の見通し判断DIは△33.7と、今期の現状実績値△22.2よりも慎重な数値を示している。小規模企業では△34.7の見通しで、前回調査時の△48.4と比較するとやや楽観的な見通しを示している。また小規模企業の卸売業で37.4ポイントの悪化見通しを示しており、今回大幅な改善を示した結果が冷え込む見込みである。小規模企業の建設業でやや悪化の見通しが見込まれるが、その他の業種は小幅な動きに留まっている。

表－1 経営の現状と今後の見通し

	実 績			来期の見通し
	23年1月～6月	23年7月～12月	24年1月～6月	24年7月～12月
全 産 業	△ 48.6 △ 51.0	△ 48.4 △ 54.0	△ 22.2 △ 27.4	△ 33.7 △ 34.7
製 造 業	△ 41.4 △ 59.1	△ 40.5 △ 50.0	△ 18.1 △ 15.5	△ 23.6 △ 20.0
建 設 業	△ 48.4 △ 48.1	△ 55.2 △ 53.3	△ 19.4 △ 18.3	△ 35.9 △ 35.0
卸 売 業	△ 44.4 △ 41.7	△ 35.9 △ 41.7	△ 5.6 △ 6.3	△ 19.1 △ 43.7
小 売 業	△ 59.6 △ 59.2	△ 42.8 △ 52.0	△ 45.5 △ 58.6	△ 54.5 △ 51.7
飲 食 業	△ 80.0 △ 85.7	△ 83.3 △ 66.6	△ 37.5 △ 49.9	△ 50.0 △ 50.0
サービス業	△ 42.1 △ 40.5	△ 48.4 △ 55.2	△ 18.5 △ 36.1	△ 30.9 △ 34.0

DI＝好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

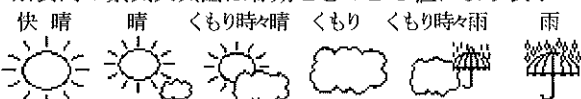
※下段DI値は小規模企業

	実 績			来期の見通し
	23年1月～6月	23年7月～12月	24年1月～6月	24年7月～12月
全 産 業				
製 造 業				

建 設 業				
卸 売 業				
小 売 業				
飲 食 業				
サ ー ビ ス 業				

D I = 好転 (良い、やや良い) の割合 - 悪化 (やや悪い、悪い) の割合 △はマイナス表示

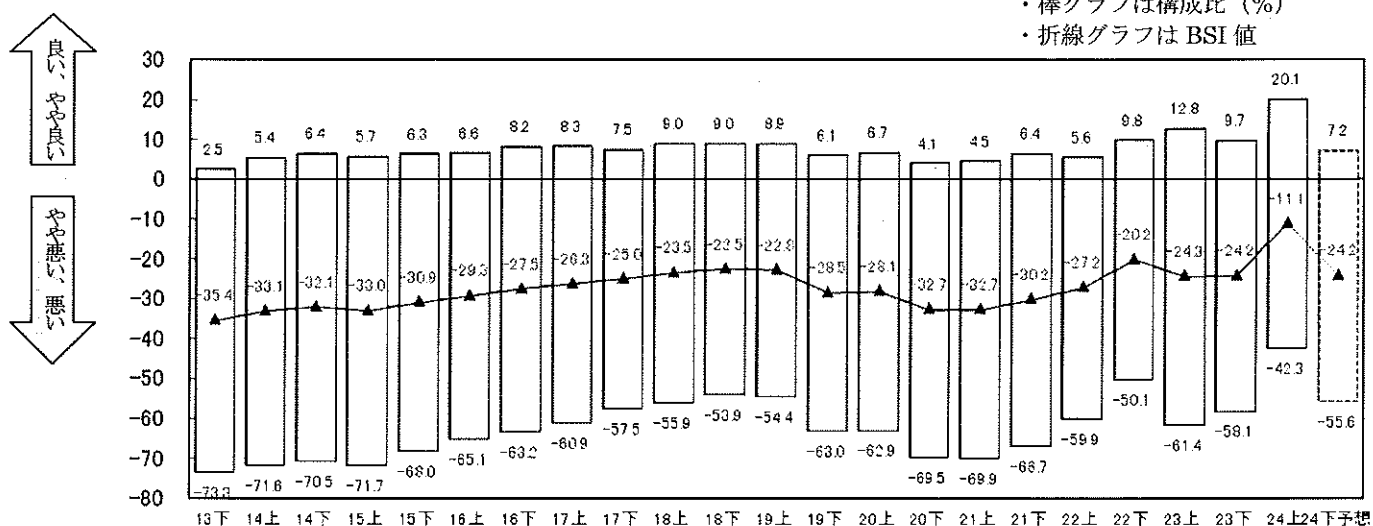
※表内の景気天気図は各期ごとのD I 値により表示



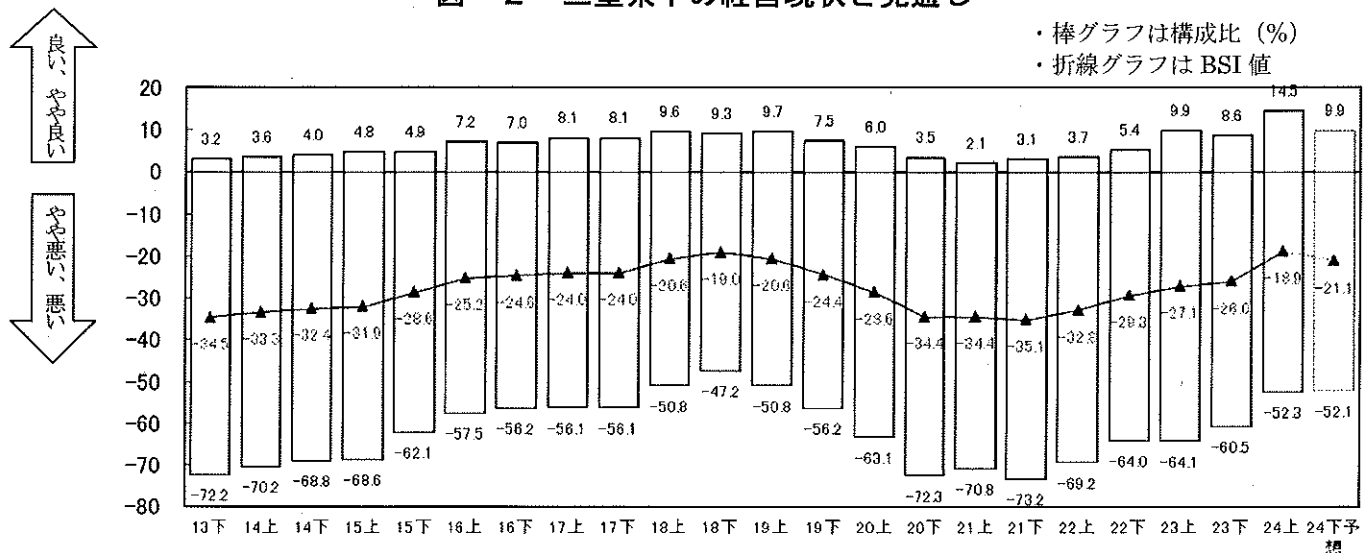
景 気 判 断 D I

50以上100 25以上 0 以上 △25以上 △50以上 △100
50未満 25未満 0 未満 △25未満 △50未満

図－１ 津地区の経営の現状と見通し



図－２ 三重県下の経営現状と見通し



2. 売上状況と来期の見通し（表－2 参照）

（1）今期の動向

全産業の売上D Iは今期△19.3、前期△29.0と比べ9.7ポイントの改善となった。前回調査で4.5ポイント改善し、今期も改善した結果となった。業種別で見ると全業種で回復となっているが、中でも卸売業が27.2ポイント回復と目立っている。卸売業は2期連続回復となっている。小規模企業でも卸売業は大きく改善しているが、小売業は15.2ポイント悪化となった。

（2）今後の見通し

全産業の売上見通し判断D Iは△30.8、今期の現状実績値△19.3と比べ11.5ポイントのマイナス幅増加となった。業種別では、卸売業が見通し△13.8と今回調査で大きく回復したことによる反動を見通している。

表－2 最近の売上と今後の見通し

	実 績			今後の見通し
	23 年 1 月～6 月	23 年 7 月～12 月	24 年 1 月～6 月	24 年 7 月～12 月
全 産 業	△ 33.5 △ 41.0	△ 29.0 △ 35.1	△ 19.3 △ 29.2	△ 30.8 △ 31.4
製 造 業	△ 14.4 △ 51.3	△ 22.7 △ 27.3	△ 12.5 △ 13.3	△ 15.3 △ 8.9
建 設 業	△ 38.8 △ 31.4	△ 31.4 △ 32.3	△ 29.8 △ 31.6	△ 34.4 △ 35.0
卸 売 業	△ 33.3 △ 25.0	△ 7.8 0.0	19.4 6.3	△ 13.8 △ 18.8
小 売 業	△ 48.9 △ 55.5	△ 38.1 △ 40.0	△ 36.3 △ 55.2	△ 56.8 △ 58.7
飲 食 業	△ 60.0 △ 71.5	△ 50.0 △ 33.3	△ 37.5 △ 49.9	△ 37.5 △ 33.3
サービス業	△ 31.6 △ 40.5	△ 34.9 △ 46.9	△ 18.6 △ 36.1	△ 32.1 △ 29.8

DI＝好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段D I 値は小規模企業

	実 績			来期の見通し
	23 年 1 月～6 月	23 年 7 月～12 月	24 年 1 月～6 月	24 年 7 月～12 月
全 産 業				
製 造 業				
建 設 業				
卸 売 業				

小 売 業				
飲 食 業				
サ ー ビ ス 業				

DI＝好転（良い、やや良い）の割合－悪化
（やや悪い、悪い）の割合 △はマイナス表示

※下段DI値は小規模企業

※表内の景気天気図は各期ごとのDI値により表示

快 晴 晴 曇り時々晴 曇り 曇り時々雨 雨



景 気 判 断 DI

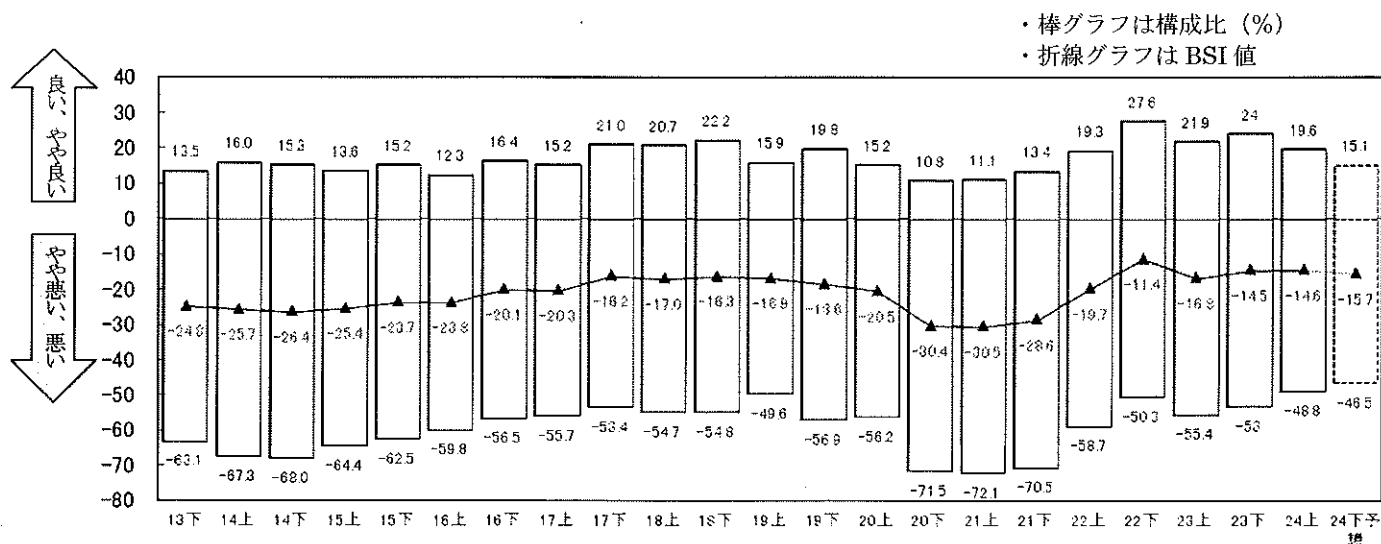
50以上100	25以上	0 以上	△25以上	△50以上	△100
	50未満	25未満	0 未満	△25未満	△50未満

3. 売上の現状（図－3・4 参照）

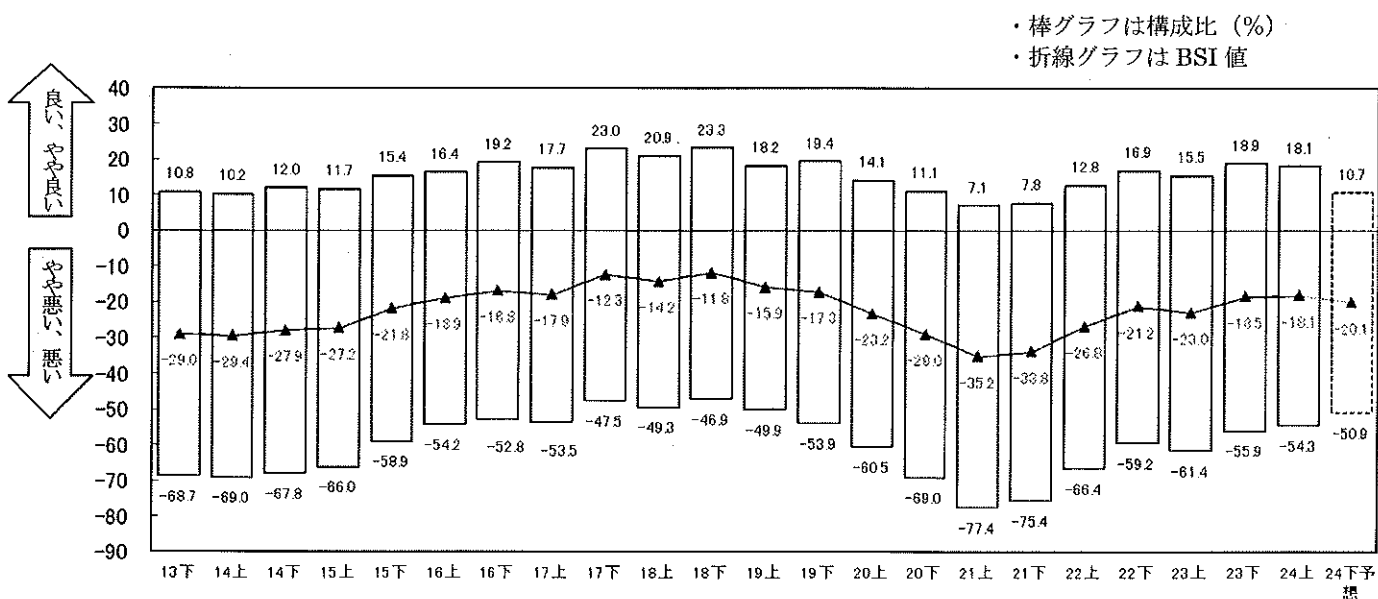
今期売上が増加した企業は全体で357企業中92企業25.8%（前期24.0%）、小規模企業では219企業中43企業19.6%（前期19.3%）。全体、小規模企業ともに改善を示している。

一方、今期売上が減少した企業は357企業中161企業45.1%（前期53.0%）、小規模企業では219企業中107企業48.8%（前期54.4%）。全体、小規模企業ともに減少となった。

図－3 津地区の売上の現状と見通し



図－4 三重県下の売上の現状と見通し



4. 利益状況（表－3、図－5参照）

全産業の利益判断DIは△30.5と前期△36.3に比べ5.8ポイント上昇した。業種別で見ると小売業が△50.1と数値を下げたが、他の業種では改善が見られた。卸売業は12.8ポイント上昇と昨年同期と比較すると41.7ポイントも上昇し、売上に続き利益でも改善を示した。小規模企業でも小売業と飲食業以外は改善の動きである。

表－3 利益状況

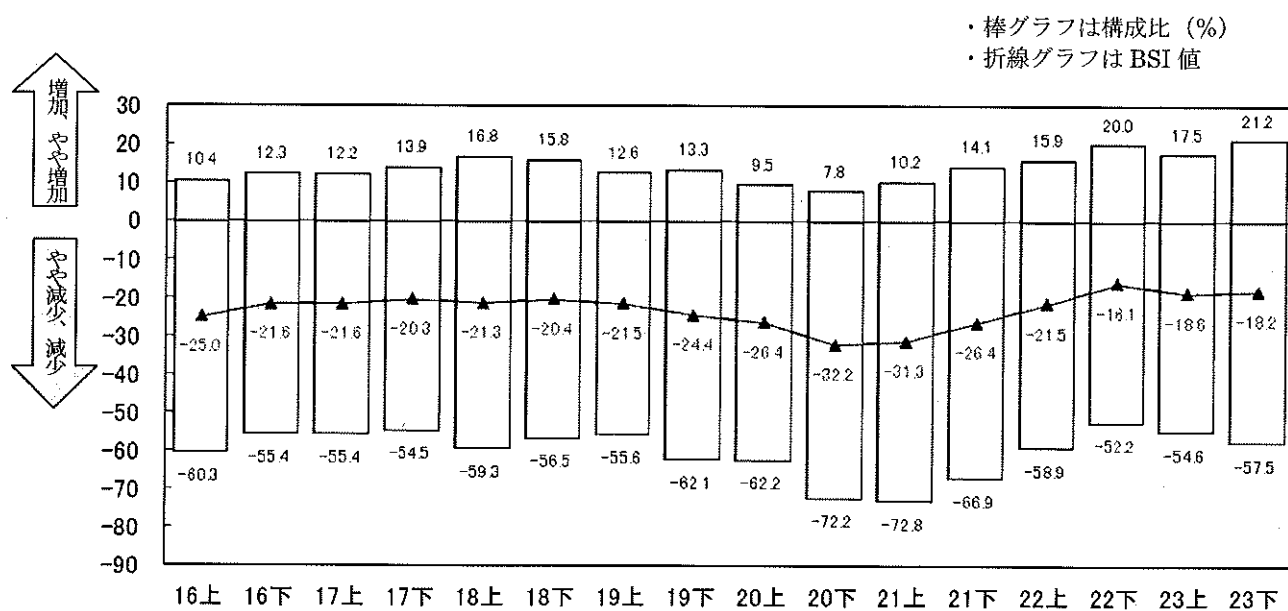
	実 績		
	23年1月～6月期	23年7月～12月期	24年1月～6月期
全 産 業	△ 37.1 △ 44.0	△ 36.3 △ 41.8	△ 30.5 △ 38.0
製 造 業	△ 12.9 △ 38.5	△ 27.8 △ 36.4	△ 13.9 △ 20.0
建 設 業	△ 48.4 △ 46.2	△ 46.2 △ 48.3	△ 35.9 △ 40.0
卸 売 業	△ 41.7 △ 33.4	△ 12.8 △ 8.3	0.0 △ 6.2
小 売 業	△ 44.7 △ 48.1	△ 38.2 △ 48.0	△ 50.1 △ 62.1
飲 食 業	△ 80.0 △ 71.4	△ 66.6 △ 33.4	△ 50.0 △ 50.0
サービス業	△ 34.3 △ 45.9	△ 37.1 △ 40.8	△ 35.0 △ 20.0

DI＝好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段DI値は小規模企業

図－5 利益状況



5. 販売条件と仕入条件

(1) 販売条件（表－4、図－6参照）

全産業の販売条件判断DIは△29.7と前期△30.7に比べ1ポイント上昇となった。業種別で見ると卸売業・建設業を除いてほぼ横ばいまたは悪化傾向である。建設業は他業種より低い水準で推移している特徴があるものの、今回調査では大きく改善を示している。小規模企業ではリーマンショック以降ならかに回復傾向が続いており、回復幅は業種によりばらつきがある。

表－4 販売条件

	実 績		
	23年1月～6月期	23年7月～12月期	24年1月～6月期
全 産 業	△ 33.8 △ 36.5	△ 30.7 △ 35.2	△ 29.7 △ 33.8
製 造 業	△ 31.5 △ 33.3	△ 26.6 △ 29.6	△ 29.1 △ 37.8
建 設 業	△ 37.1 △ 48.1	△ 46.2 △ 48.4	△ 29.9 △ 30.0
卸 売 業	△ 38.9 △ 16.7	△ 15.4 △ 33.3	△ 8.4 △ 18.8
小 売 業	△ 29.8 △ 33.3	△ 33.3 △ 44.0	△ 42.9 △ 48.3
飲 食 業	△ 70.0 △ 71.4	△ 33.3 0.0	△ 45.5 △ 66.7
サービス業	△ 29.0 △ 45.9	△ 28.2 △ 22.6	△ 50.0 △ 27.5

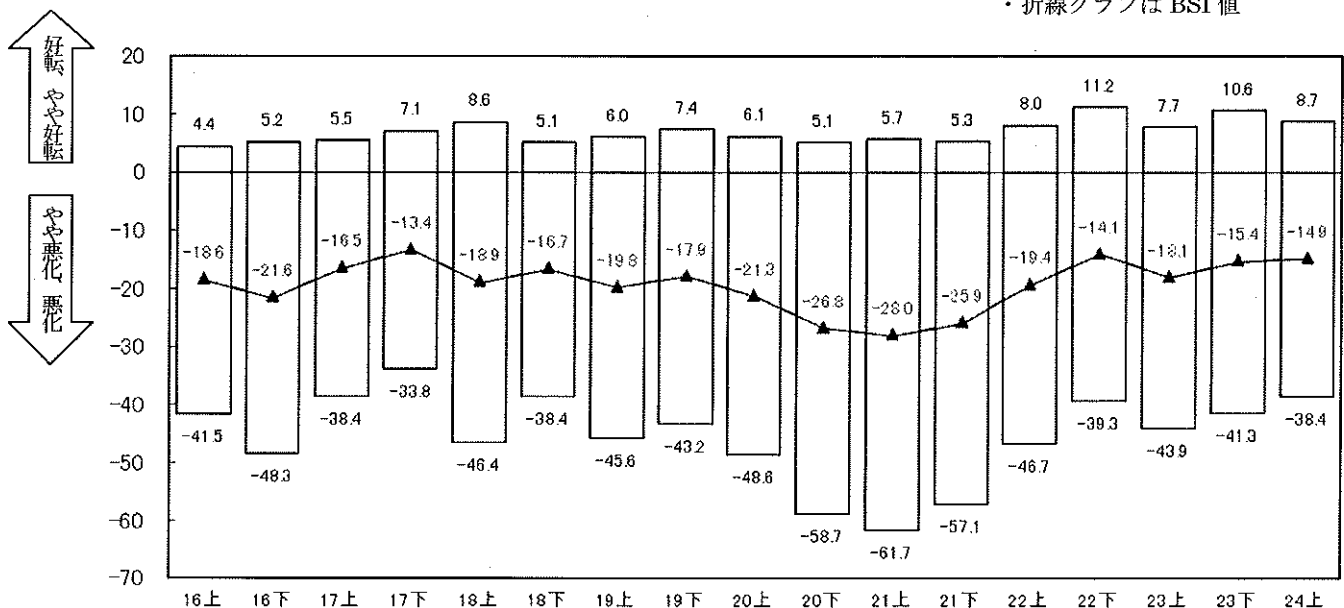
DI＝好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段（ ）内DI値は小規模企業

図－6 販売条件

- ・棒グラフは構成比（％）
- ・折線グラフはBSI値



(2) 仕入条件（表－５、図－７参照）

全産業の仕入状況判断DIは△22.7と前期△27.7に比べ5ポイント上昇となった。業種別で見ると卸売業で上昇を示しており、仕入でも好調さが伺える。小規模企業ではサービス業で前回到引き続き高い水準で推移し改善を示しているが、建設業と製造業が大きく改善していることが見て取れる。

表－５ 仕入条件

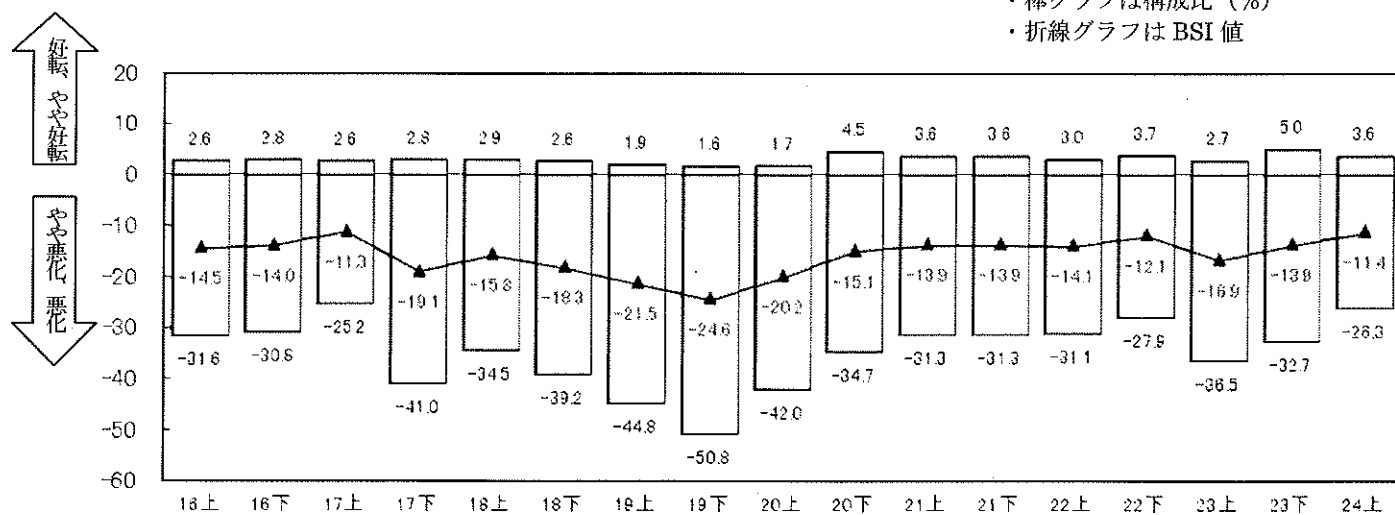
	実 績		
	23年1月～6月期	23年7月～12月期	24年1月～6月期
全 産 業	△ 33.8 △ 33.0	△ 27.7 △ 31.4	△ 22.7 △ 24.6
製 造 業	△ 31.5 △ 35.9	△ 34.2 △ 52.3	△ 25.0 △ 28.9
建 設 業	△ 37.1 △ 37.0	△ 29.8 △ 30.6	△ 17.9 △ 18.3
卸 売 業	△ 38.9 △ 33.4	△ 15.3 △ 41.6	△ 19.4 △ 31.3
小 売 業	△ 29.8 △ 22.2	△ 35.7 △ 32.0	△ 25.0 △ 37.9
飲 食 業	△ 70.0 △ 57.2	△ 16.7 △ 33.3	△ 50.0 △ 50.0
サービス業	△ 29.0 △ 37.8	△ 24.8 △ 16.3	△ 18.5 △ 12.8

DI＝好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段DI値は小規模企業

図－７ 仕入条件



6. 設備投資（表－6 参照）

（1）今期の動向

今期設備投資を実施した企業は、357 企業中 85 企業 23.8%と前期 25.1%と比べ、1.3 ポイントの減少となった。業種別では多くの業種では横ばいとなったが、建設業は他業種より低い水準で推移しており微増で低調な動きを示している。小規模企業ではそれまで高い水準で推移していた製造業・サービス業が設備投資の割合を減らした。来期はさらに減少の見込みである。

（2）来期の計画

全産業中、来期設備投資を予定している企業は357企業中71企業19.9%と今期実績値23.8%に比べ減少の見込となっている。業種別では全業種で横ばい、または減少傾向にある。

表－6 設備投資実施企業割合

（単位：％）

	実 績			来期計画
	23 年 1 月～6 月期	23 年 7 月～12 月期	24 年 1 月～6 月期	24 年 7 月～12 月期
全 産 業	22.3	25.1	23.8	19.9
	17.5	14.6	15.5	10.5
製 造 業	37.1	43.0	40.3	30.6
	28.2	29.5	20.0	8.9
建 設 業	14.5	10.4	16.4	13.4
	9.3	9.7	13.3	8.3
卸 売 業	16.7	17.9	22.2	16.7
	8.3	0.0	12.5	6.3
小 売 業	19.1	19.0	20.5	20.5
	7.4	4.0	6.9	6.9
飲 食 業	0.0	33.3	25.0	0.0
	0.0	33.3	33.3	0.0
サービス業	18.4	23.6	16.5	16.5
	24.3	20.4	17.0	14.9

※下段の値は小規模企業

7. 資金繰りの動向（表－7、図－8 参照）

（1）今期の動向

全産業の今期の資金繰り判断D I は△14.1と前期△21.3に比べ7.2ポイントの改善となった。業種別では小売業では悪化と答えた企業が増加したが、他業種では良化の結果である。卸売業ではプラスの数値を示しており「悪い」と答えた企業より「良い」と答えた企業の方が上回った。小規模企業では流通業種である卸売業と小売業では小売業のあとを追うように卸売業が動いており注視が必要である。

(2) 来期の見通し

全産業の来期資金繰り判断D Iは△23.8と今期実績値△14.1に比べ、9.7ポイント減少の見通しで、大幅な改善は見込まれていない。

表－7 資金繰り

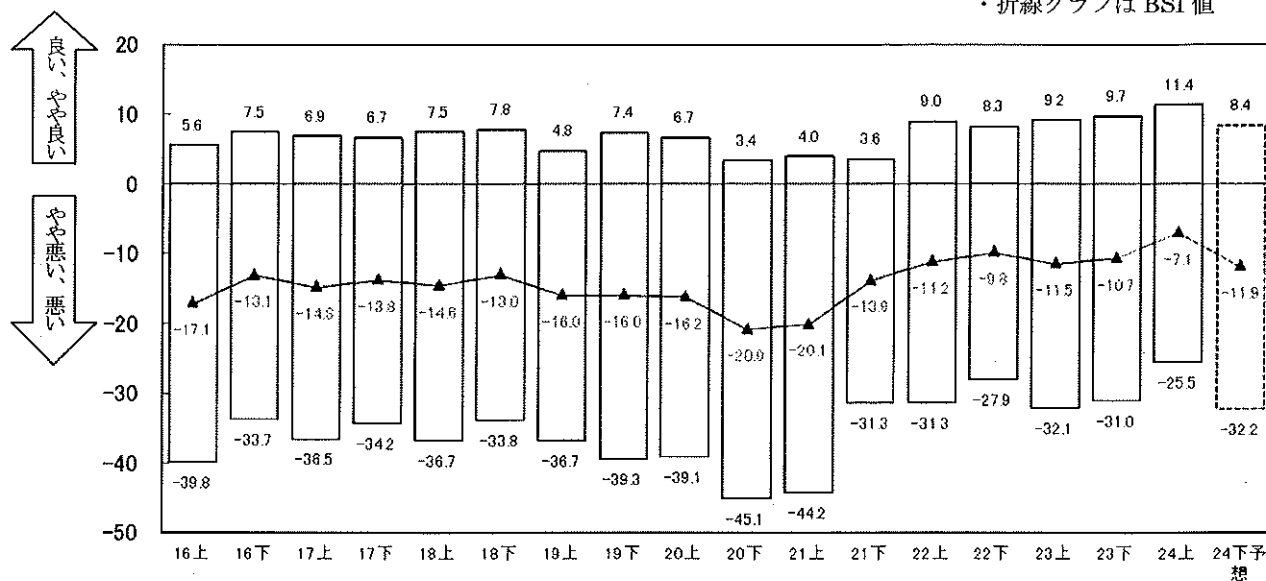
	実 績			来期見通し
	23年1月～6月期	23年7月～12月期	24年1月～6月期	24年7月～12月期
全 産 業	△ 22.9 △ 29.5	△ 21.3 △ 26.3	△ 14.1 △ 17.9	△ 23.8 △ 26.5
製 造 業	△ 20.0 △ 35.9	△ 15.2 △ 27.3	△ 5.7 △ 15.6	△ 17.9 △ 20.0
建 設 業	△ 17.7 △ 22.3	△ 23.9 △ 24.2	△ 12.0 △ 11.7	△ 23.8 △ 25.0
卸 売 業	△ 16.6 △ 8.4	△ 10.2 △ 33.4	8.4 0.0	△ 2.7 △ 18.8
小 売 業	△ 27.6 △ 29.6	△ 21.4 △ 24.0	△ 36.3 △ 41.3	△ 38.6 △ 37.9
飲 食 業	△ 70.0 △ 71.4	△ 50.0 △ 66.6	△ 37.5 △ 33.3	△ 37.5 △ 33.3
サービス業	△ 19.7 △ 35.1	△ 28.1 △ 28.5	△ 16.5 △ 21.3	△ 27.8 △ 29.6

DI＝好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段D I値は小規模企業

図－8 資金繰りの現状と見通し



8. 借入の動向（表－8 参照）

全産業の借入難易度判断DIは12.3と前期11.1に比べ1.2ポイントの改善となった。借入の動向については過去2年間では悪化と改善を繰り返しており、今期は横ばいであると言える。業種別では、建設業が他業種とは別の動きで悪化を示している。前回大幅に改善した結果、揺り戻しとなったと言える。

表－8 借入の難易度

	実 績		
	23年1月～6月期	23年7月～12月期	24年1月～6月期
全 産 業	15.5 9.2	11.1 2.2	12.3 1.2
製 造 業	28.5 23.6	14.3 0.0	23.2 12.5
建 設 業	6.2 △ 3.7	20.0 20.6	9.4 7.4
卸 売 業	18.2 0.0	14.8 △ 16.7	26.1 22.2
小 売 業	22.6 16.7	0.0 △ 33.3	4.3 △ 15.4
飲 食 業	△ 25.0 △ 50.0	0.0 0.0	0.0 0.0
サービス業	4.8 12.5	0.0 △ 12.5	6.5 △ 14.3

DI＝好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段の値は小規模企業

9. 借入予定と借入希望先（図－9 参照）

全産業中、来期に借入を予定している企業は357企業中67企業で全体の18.8%、前期21.2%となり、借入希望は微減状況である。

借入希望先では、全産業の民間金融機関希望は73.1%と前期73.7%と横ばいである。

資金使途では運転資金は79.1%（前期72.4%）、設備資金20.9%（前期26.3%）となっており、前期では運転資金需要が設備資金よりも上まったが、今期でも同じく運転資金需要へと傾いている。

図-9-① 借入予定

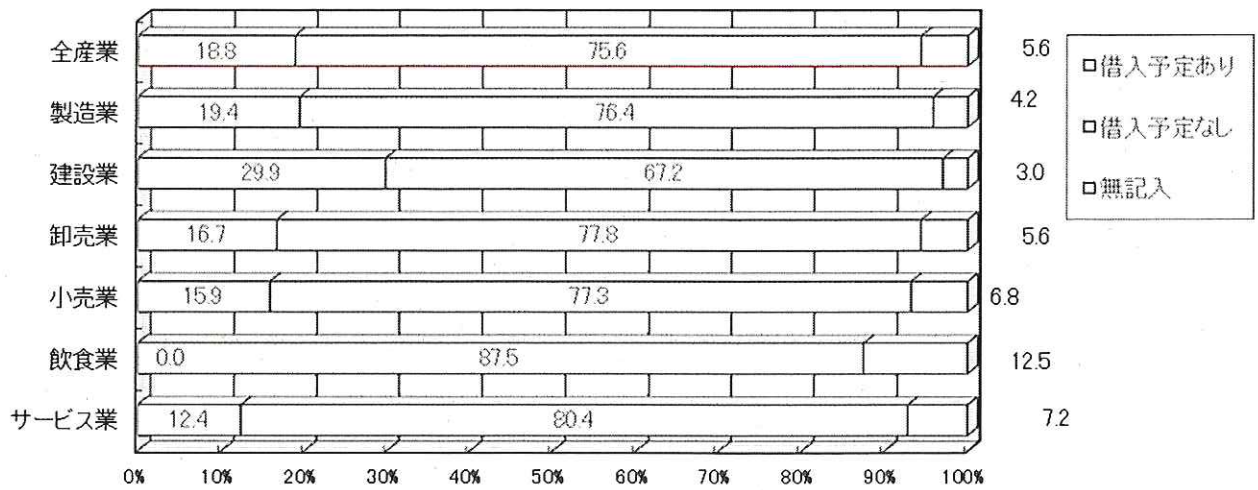


図-9-② 借入希望先

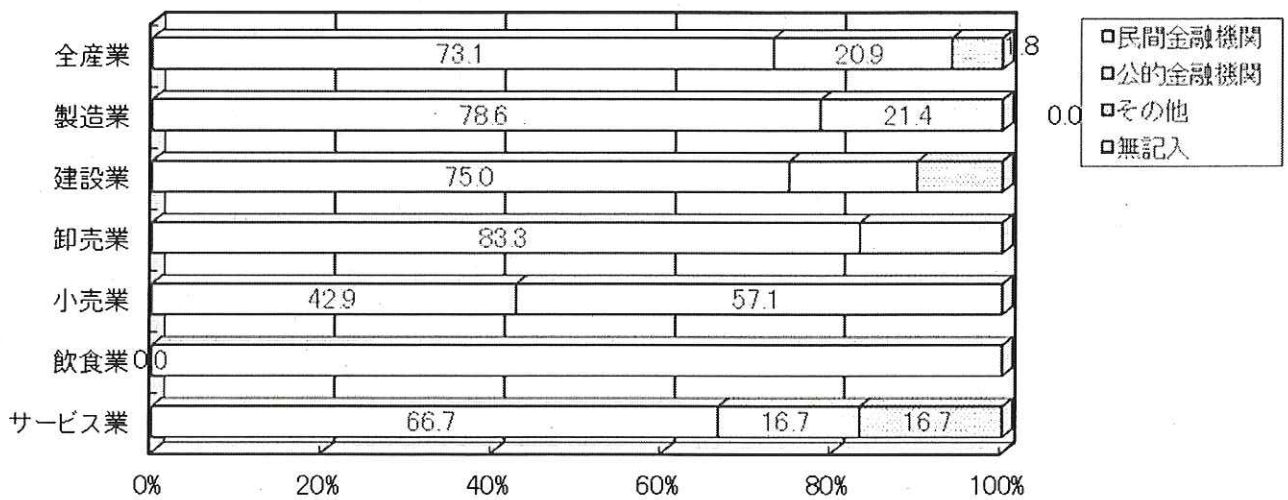
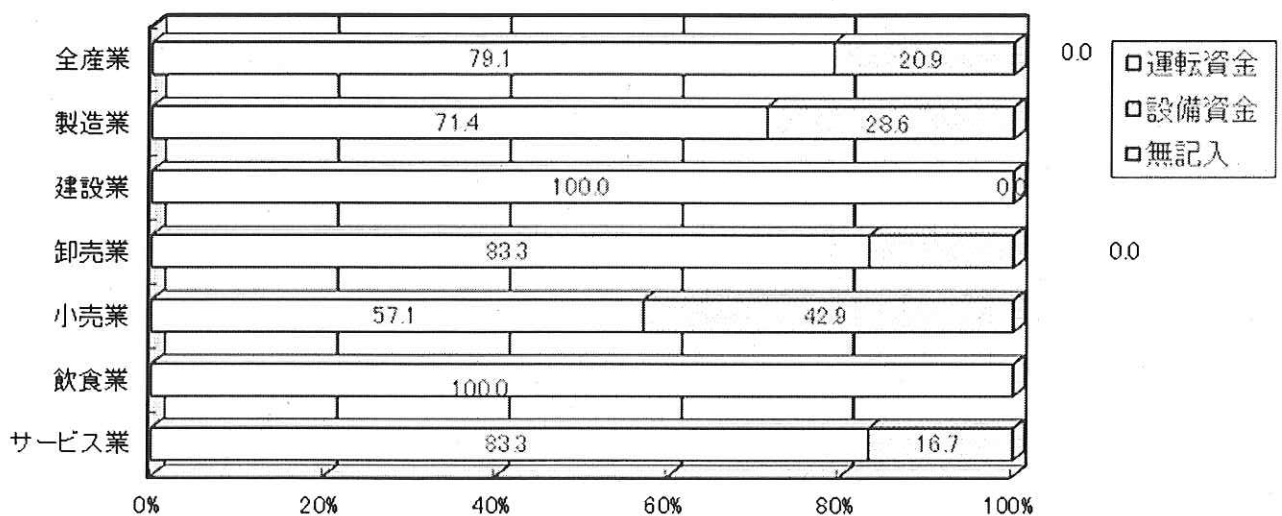


図-9-③ 借入資金の使途予定



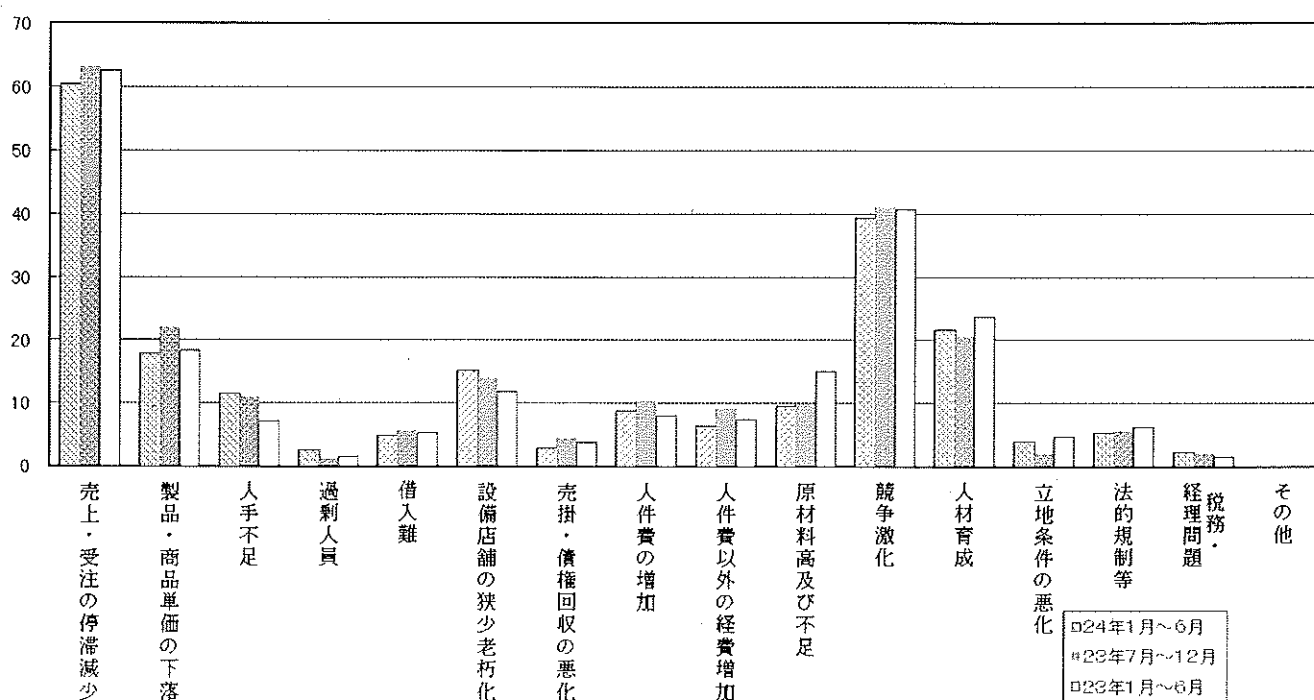
10. 経営上の問題点（3項目まで選択）（表－9、図－10 参照）

全産業の経営上の問題点は1・2位は19期連続で「売上・受注の停滞・減少」、「競争激化」となり、3位は前期「製品・商品単価の下落」と入れ替わりに「人材育成」となった。1位の「売上・受注の停滞・減少」と2位の「競争激化」は減少に転じた。一方、3位の「人材育成」は前期よりも割合を増加させた。

業種別で見ると全業種で、「売上・受注の停滞・減少」が1位となっている。小売業と飲食業で「設備店舗の狭小老朽化」を挙げる企業が増加し、3位と2位にランクインした。

図－10 全産業・経営上の問題点

（単位：％）



表－９ 産業別・経営上の問題点

(単位：％)

産業 順位		23年7月～12月期			24年1月～6月期		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位
産業別	全産業	売上・受注の 停滞減少 63.1	競争激化 41.1	製品・商品 単価の下落 22.1	売上・受注の 停滞減少 60.5	競争激化 39.5	人材育成 21.6
	製造業	売上・受注の 停滞減少 62.0	競争激化 40.5	製品・商品 単価の下落 40.5	売上・受注の 停滞減少 52.8	製品・商品 単価の下落 31.9	競争激化 30.6
	建設業	売上・受注の 停滞減少 77.6	競争激化 61.2	製品・商品 単価の下落 13.4	売上・受注の 停滞減少 73.1	競争激化 55.2	人材育成 22.4
	卸売業	売上・受注の 停滞減少 56.4	競争激化 46.2	人材育成 30.8	売上・受注の 停滞減少 61.1	競争激化 41.7	人材育成 38.9
	小売業	売上・受注の 停滞減少 66.7	競争激化 42.9	製品・商品 単価の下落 33.3	売上・受注の 停滞減少 75.0	競争激化 40.9	設備店舗の 狭小老朽化 29.5
	飲食業	売上・受注の 停滞減少 83.3	人手不足 50.0	原材料高 及び不足 33.3	売上・受注の 停滞減少 62.5	設備店舗の 狭小老朽化 37.5	競争激化 25.0
	サービス業	売上・受注の 停滞減少 55.1	競争激化 36	人材育成 22.5	売上・受注の 停滞減少 52.6	競争激化 39.2	人材育成 20.6

景況調査票

平成 24 年 7 月

会議所	No.	コード

※各設問に対して該当するものに○をして下さい。

I. 企業の概要

1. 業 種 (主たるもの1つ)

10. 製造業	1. 食料品	2. 繊維品	3. 機械製品	4. 金属製品	5. 木材木製品
	6. 化学製品	7. 土石窯業	8. 印刷・出版	9. その他	
11. 建設業	10. 土木工事	11. 建築工事	12. その他		
12. 卸売業	13. 食料品	14. 繊維・身の回り品	15. その他		
13. 小売業	16. 繊維・身の回り品	17. 食料品	18. 家具・日用品	19. 電気製品	20. その他
14. 飲食業	21. 飲食店				
15. サービス業	22. 美容・理容	23. ホテル・旅館	24. 自動車整備	25. 不動産	26. その他
16. 交通運輸業	27. 交通運輸	28. その他			

2. 常時使用従業員数(会社の役員・家族従業員・パートを除く)

1. 0 ～ 5 人	2. 6 ～ 20 人	3. 21 ～ 50 人	4. 51 ～ 100 人	5. 101 人以上
------------	-------------	--------------	---------------	------------

II. 企業の経営状況について

3. 現状について…平成 24 年 1 ～ 6 月の業況は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 良 い	2. や や 良 い	3. 変 わ ら な い	4. や や 悪 い	5. 悪 い
--------	------------	--------------	------------	--------

4. 今後の見通しについて…平成 24 年 7 ～ 12 月の業況は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 良 い	2. や や 良 い	3. 変 わ ら な い	4. や や 悪 い	5. 悪 い	6. わ か ら な い
--------	------------	--------------	------------	--------	--------------

5. 売上状況について…平成 24 年 1 ～ 6 月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増 加	2. や や 増 加	3. 変 わ ら な い	4. や や 減 少	5. 減 少
--------	------------	--------------	------------	--------

6. 売上の見通しについて…平成 24 年 7 ～ 12 月の売上は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 増 加	2. や や 増 加	3. 変 わ ら な い	4. や や 減 少	5. 減 少	6. わ か ら な い
--------	------------	--------------	------------	--------	--------------

7. 利益状況について…平成 24 年 1 ～ 6 月の利益は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増 加	2. や や 増 加	3. 変 わ ら な い	4. や や 減 少	5. 減 少
--------	------------	--------------	------------	--------

8. 販売状況(単価・決済方法)について…平成 24 年 1 ～ 6 月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好 転	2. や や 好 転	3. 変 わ ら な い	4. や や 悪 化	5. 悪 化
--------	------------	--------------	------------	--------

9. 仕入条件(単価・決済方法)について…平成 24 年 1 ～ 6 月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好 転	2. や や 好 転	3. 変 わ ら な い	4. や や 悪 化	5. 悪 化	6. 仕 入 な し
--------	------------	--------------	------------	--------	------------

10. 設備投資について

24 年 1 ～ 6 月の実績	24 年 7 ～ 12 月の予定
1. 行 っ た	1. 予定あり
2. 行 わ な い	2. 予定なし

11. 資金繰りの現状について…平成 24 年 1 ～ 6 月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好 転	2. や や 好 転	3. 変 わ ら な い	4. や や 悪 化	5. 悪 化
--------	------------	--------------	------------	--------

12. 資金繰りの見通しについて…平成 24 年 7 ～ 12 月は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 好 転	2. や や 好 転	3. 変 わ ら な い	4. や や 悪 化	5. 悪 化	6. わ か ら な い
--------	------------	--------------	------------	--------	--------------

13. 借入の現状について…平成 24 年 1 ～ 6 月はどうでしたか。(借入された方のみ)

1. 容 易	2. 普 通	3. 困 難
--------	--------	--------

14. 借入予定はありますか… (平成 24 年 7 ～ 12 月)

1. 予 定 し て い る	2. 予 定 し て い な い
----------------	------------------

14-1. 借入先は、どこを希望されますか。(主たるもの一つ)

1. 民間金融機関	2. 公的金融機関	3. そ の 他
-----------	-----------	----------

14-2. 資金使途は何を予定されていますか。(主たるもの一つ)

1. 運 転 資 金	2. 設 備 資 金
------------	------------

15. 現在経営上で、困っている問題点は何ですか。あれば3つ以内で選んでください。

1. 売上・受注の停滞減少	6. 設備・店舗の狭小老朽化	11. 競争激化
2. 製品・商品単価の下落	7. 売掛・債権回収の悪化	12. 人材育成
3. 人手不足	8. 人件費の増加	13. 立地条件の悪化
4. 過剰人員	9. 人件費以外の経費の増加	14. 法的規制等(緩和を含む)
5. 借入難	10. 原材料高及び不足	15. 税務・経理問題

16. その他困っている問題・ご意見等があればご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。

津地区の景況調査 No.60

平成24年9月発行

■ 編集 津商工会議所・中小企業相談所

■ 発行 津商工会議所

(本所)

〒514-0033 津市丸之内29-14

TEL 228-9141 FAX 228-7317

(久居支所)

〒514-1135 津市久居本町1347-1

TEL 255-2343 FAX 256-3665